

第1回白山市特別職報酬等審議会 議事要約

日 時 令和7年10月2日（木）午後5時30分～6時28分
場 所 白山市役所5階 庁議室
出 席 者 会長 高松 喜与志
委員 北山 幸枝、松本 祐紀、柳 幸枝、山本 外勝

諮問事項 議員報酬の額について

会議次第

- 1 開会
- 2 市長挨拶
- 3 委員紹介
- 4 議事
 - (1) 会長、職務代理の選任について
 - (2) 市長から会長へ諮問
 - (3) 審議
- 5 閉会

議 事

- ・委員の互選により、高松委員が会長に選出された。
- ・職務代理者は会長の指名により山本委員が選出された。
- ・委員の協議により、本審議会は非公開とし、議事要約をホームページで公開とする。
- ・事務局による資料説明

【主な意見】

- ・見直しの申し入れのあった市議会の声を聞いたほうがいいのではないか。
- ・令和4年度に行われた市議会と市民との話し合いの場において、報酬額50万円から健康保険や年金などで約3割が減額される。市長は健康保険の半分を市が負担しているが、議員は全て負担している。4年ごとの有期雇用かつ退職金が支給されないことから、若い方がチャレンジしづらい。今の仕事を辞めてまで、政治に打ち込めるような金額ではないと説明があった。
- ・人口の同規模の自治体及び県内の他の市議会でも、収入が議員報酬のみの議員は金銭的に余裕がないのではないか。未来のない金額で比較してもだめである。生活できる金額に達するか達してないかで考えたほうがいい。白山市は1市2町5村が合併し、県内で一番広い市域を有しており、ある意味、県議会議員に近い判断を求められる市ではないか。もっと上げてもいいのではないか。
- ・確かに議員からはちょっと厳しいと聞く。
- ・最近、最低賃金も上がってきており、物価上昇に合わせて給料も上げなければいけない。現在の議員報酬は長い期間でずっと同額であるが、社会情勢に応じて細かく上げていくことも必要ではないか。
- ・報酬が上がれば、若い方々のほかに女性や専門的な知識を持った方、市全体を見ることができる知識を持った方などが立候補することで選べるようになる。
- ・専門知識を持った方が、仕事を辞めて議員になり、議員を辞めても元に戻れな

い。今の報酬ではやりたくないと思う。

- ・他市の報酬と横並びだからそれでよしとせず、優秀な方が議員になれるようなことを考えていく。
- ・もっと稼ぐ力、先を見る力を持った人に議員になって欲しいので、上げるべきではないか。
- ・市の財政はどのような状況か。
- ・第2回審議会は令和7年10月27日（月）午後5時30分から開催し、市議会に出席を要請する。